

銚子市国民健康保険

第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)

第4期特定健康診査等実施計画

(2024年度～2029年度)

概要版



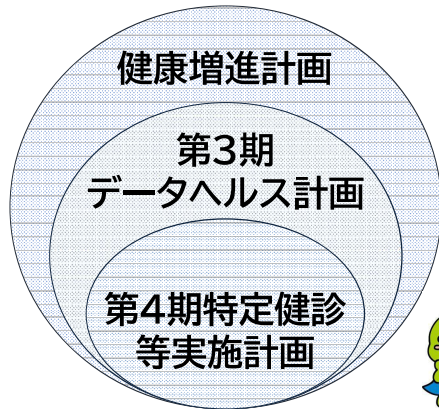
2024年3月
銚子市

1. 計画の基本的事項

背景・目的

近年、保険者が健康や医療に関する情報を活用して、被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤の整備が進んでいます。

本市においても、保健事業実施指針に基づき、「データヘルス計画」を定め、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防等の保健事業の実施及び評価を行うものとしします。



2. 銚子市の特性



①人口・被保険者数

市の人口は令和5年4月1日時点で55,823人で、国保被保険者の割合は27.6%を占めています。

総人口		65歳以上人口		高齢化率	国民健康保険被保険者	後期高齢者医療被保険者
全体	55,823人	22,122人		39.6%	15,427人 (27.6%)	11,778人 (21.1%)
男性	27,227人	男性	9,637人		27,205人 (48.7%)	
女性	28,596人	女性	12,485人			

②平均寿命・健康寿命

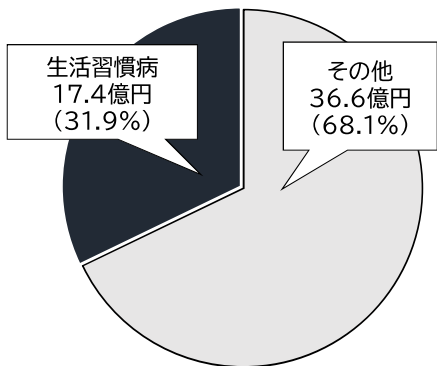
銚子市は平均寿命・健康寿命ともに、千葉県・国を下回っています。

令和2年度	平均寿命		健康寿命(平均自立期間)	
	男	女	男	女
銚子市	79.4年	86.2年	78.3年	83.7年
千葉県	81.0年	86.9年	80.0年	84.1年
国	80.8年	87.0年	79.8年	84.0年

3. 生活習慣病の医療費と疾病状況

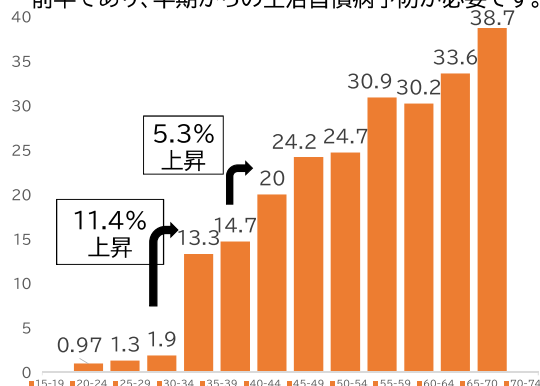
①総医療費に占める生活習慣病の割合

総医療費54億円のうち、生活習慣病が占める割合は31.9%となっています。



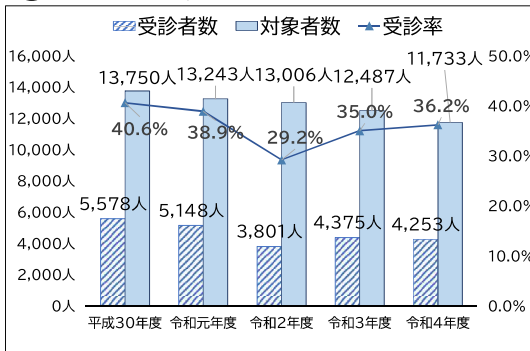
②年齢別の割合

生活習慣病の医療費割合の増加幅最大は30代前半であり、早期からの生活習慣病予防が必要です。

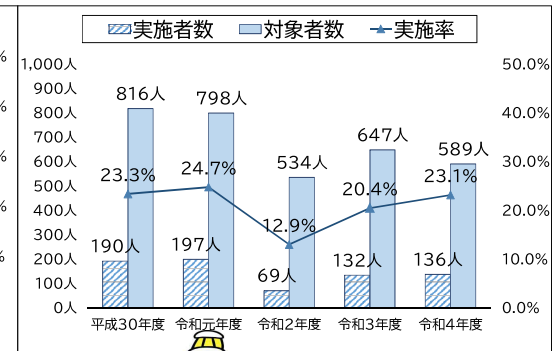


4. 特定健診・特定保健指導の状況

①特定健診受診率



②特定保健指導の実施率



新型コロナウイルス感染拡大の影響で下降した特定健診受診率は、国の目標値である60%には到達していません。



5. 人工透析・服薬状況の分析

①人工透析と糖尿病のレセプト分析

年齢別にみると、50～60代に糖尿病をもつ透析患者数の割合が高くなっています。人工透析患者のうち、糖尿病の有病率は46.2%で、糖尿病性腎症の有病率は11.8%でした。

年代	被保険者数 (人)A	人工透析 B		糖尿病 C		糖尿病性腎症 D	
		人数 (人)	割合(%) (B/A)	人数 (人)	割合(%) (C/B)	人数 (人)	割合(%) (D/B)
20歳代以下	2,364	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30歳代	1,076	1	0.1	0	0.0	0	0.0
40歳代	1,552	8	0.5	1	12.5	0	0.0
50歳代	2,228	24	1.1	13	54.2	5	20.8
60～64歳	1,857	18	1.0	9	50.0	2	11.1
65～69歳	3,345	18	0.5	11	61.1	3	16.7
70～74歳	4,452	24	0.5	9	37.5	1	4.2
合計	16,874	93	0.6	43	46.2	11	11.8

②服薬状況の分析

- ・多剤服用者は、特に60代以降の割合が大きくなっていますが、低年齢層においても一定数見られます。
- ・ジェネリック医薬品の切替率は徐々に増加しており、令和5年6月時点では80%を超えています。

6. 健康課題と課題解決に向けた取組

健康課題	課題解決のための取組
課題1 特定健診受診率が低く、自身の健康状態を適切に把握できていない。	○特定健診受診率向上事業 ○若い世代の健診
課題2 メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合が高く、生活習慣改善の意識が低い。	○特定保健指導実施率向上事業 ○生活習慣病予防教室
課題3 死因・死亡割合のうち、心疾患・脳血管疾患・腎不全の割合が国や県と比較して高く、これらの原因疾患の原因となる高血圧症・糖尿病・脂質異常症の有所見者割合が高い。また、要介護(支援)者についても、高血圧症・糖尿病・脂質異常症のレセプトが占める割合が高い。	○要医療者への受診勧奨
課題4 慢性腎不全(透析あり)の医療費割合が高く、医科医療費総額が年々増加傾向にある。	○糖尿病性腎症重症化予防プログラム
課題5 重複・頻回受診や多剤服薬者など適切な医療受診・服薬行動がとれていない者が多い。	○重複・多剤服薬患者への医薬品適正化事業

7. 中長期的な目標

評価指標	現状値	ベースライン
健康寿命(平均自立期間)	男性	78.3年 R3
	女性	82.5年 R3
一人当たりの医科医療費	入院	11,149円 R4
	外来	16,705円 R4
生活習慣病疾病別医療費(外来)	慢性腎臓病(透析あり)	209,727千円 R4
	脳血管疾患	13,353千円 R4
	虚血性心疾患	29,228千円 R4
	糖尿病	305,540千円 R4
	高血圧症	200,236千円 R4
	脂質異常症	101,063千円 R4
有病割合	人工透析	0.5% R4年4月
	脳血管疾患	4.0% R4年4月
	虚血性心疾患	4.6% R4年4月
	糖尿病	14.0% R4年4月
	高血圧症	22.5% R4年4月
	脂質異常症	18.0% R4年4月
新規人工透析患者数(年間)	特定疾病受療証発行者数	3人 R4

8. 各保健事業の実施内容・評価指標

事業名	事業概要	令和11年度 目標値
1. 特定健診受診率向上事業	特定健診未受診者に対し、受診勧奨を実施するなど特定健診受診率の向上に努める。	①受診勧奨実施割合100% ②特定健診受診率50.0%
2. 特定保健指導実施率向上事業	特定健診の結果に基づき、「動機付け支援」または「積極的支援」を実施する。	①未利用者への電話実施率83.0% ②特定保健指導実施率40.0% ③メタボ該当18.0%予備群10.0%
3. 若い世代の健診	特定健診のプレ健診として位置付け、今後特定健診を受診する意識付けを目的とする。	①国保被保険者受診率15.0% ②受診勧奨者の初めての受診率17.0% ③次年度特定健診受診率90.0%
4. 生活習慣病予防教室	生活習慣病のリスクが出現し始めた者が、生活習慣病予防の重要性について理解できる。	①特定健診問診より生活習慣の状況 ②特定健診有所見者割合
5. 要医療者への受診勧奨	特定健診の結果、要医療判定となった者が確実に受診し、生活習慣病の重症化を予防する。	①対象者への個別面接実施割合80.0% ②対象者の医療機関受診率50.0%
6. 糖尿病性腎症重症化予防プログラム	糖尿病性腎症の未治療者に対し、治療継続や生活習慣改善に取り組めるよう支援する。	①対象者の医療機関受診率60.0% ②HbA1c8.0%/6.5%の者の割合
7. 重複・多剤服薬患者への医薬品適正化事業	重複・多剤服薬により、薬の作用が過度に増強しやすい点や副作用を起こしやすい状況を改善する。	①対象者の多剤服薬状況改善率30.0% ②対象者の重複服薬状況改善率14.0%